

さとしゅう

議会だより

No.82



岡山県 里庄町議会



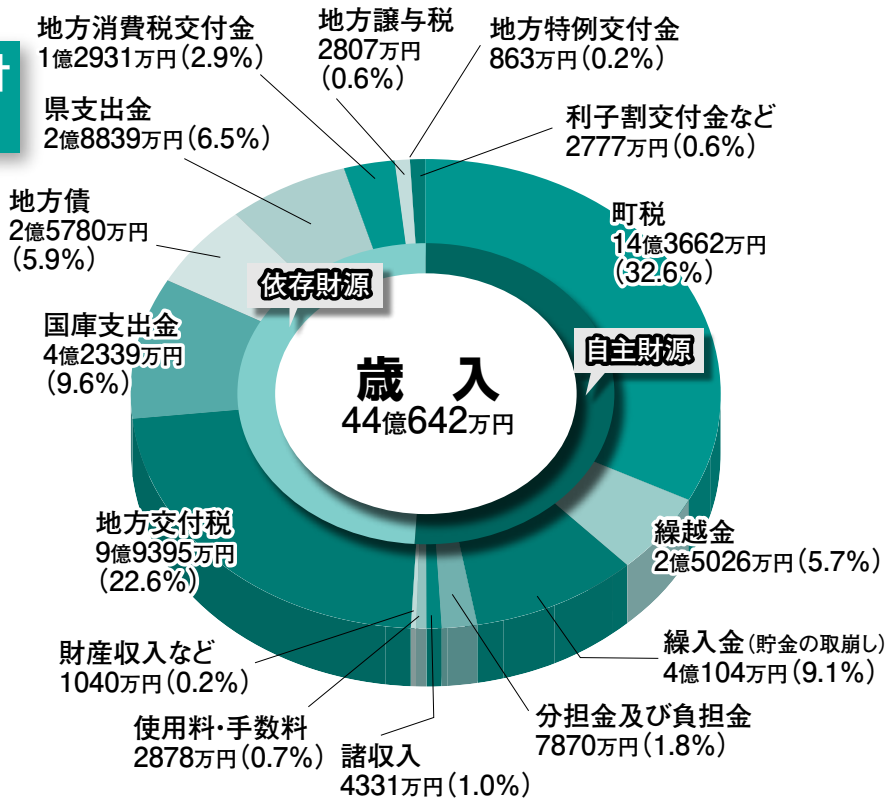
- 平成26年度決算 一般会計は全会一致で認定 (2)
- 借金・基金の状況は (統括質疑) (5)
- 歩道橋・町の持ち出し額は (補正予算 質疑) (10)
- 町政を問う (7人が登壇) (14)
- シリーズ “地域の子どもたち” (22)

力を合わせて、せ〜の!

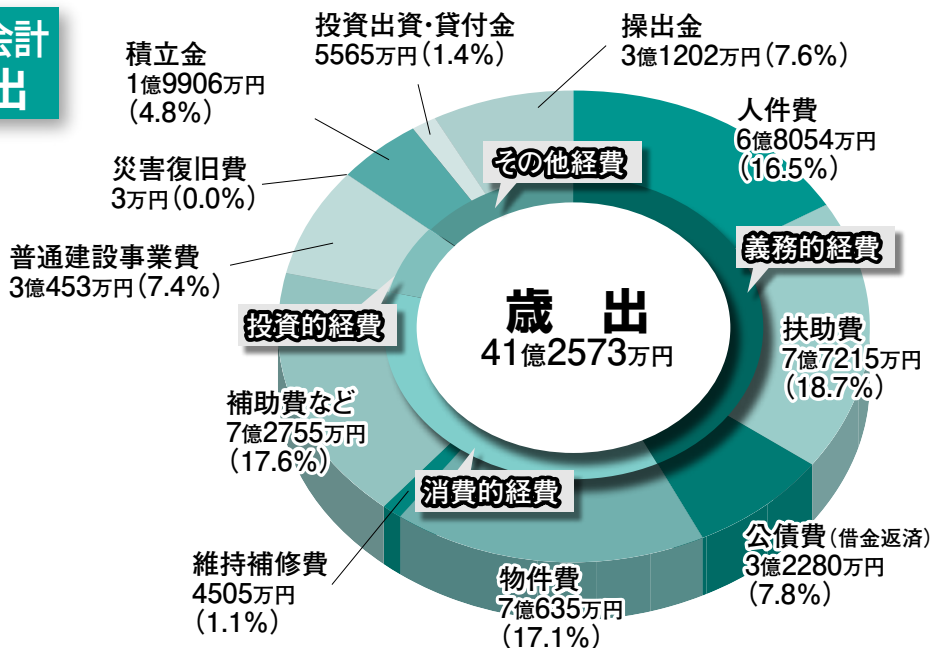
定例会

成果を認定!

普通会計 歳入



普通会計 歳出



平成27年第4回里庄町議会定例会は、9月1日から17日までの会期で開かれました。議案は平成26年度会計決算の認定9件、平成27年度の補正予算8件、条例の一部改正4件、人事案件1件、報告1件、議員からの発議2件が上程され、いずれも原案どおり可決等しました。なお、一般質問では7人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

26年度
決算

一般会計決算

全会一致で

介護老人保健施設特別会計決算は賛成多数で、

賛成 7 : 2 反対

その他の特別会計・事業会計決算は全会一致で認定。



親子で楽しむ秋祭り

ここが反対！

決めたことがなぜ守れないのか

高田卓司議員

協定により町が負担するのは、100万円以上の修繕と30万円以上の備品。

しかし、スライディングストレッチャー代258,000円、トイレ改修費689,040円及び4階汚物流し設置費727,110円も町が負担している。

予算審議の過程でも指摘しているが、決めたことがなぜ守れないのか。

議会軽視であり、将来に悪しき例と悪影響をもたらすので、承認しがたい。

予算決算委員会

全ての議案を認定

予算決算委員会に付託された平成26年度の会計決算の認定7議案、事業会計剰余金の処分及び決算の認定2議案は、9月9、10、11日に委員会を開催し、関係当局者の説明を聴取しながら慎重に審査を行いました。

その結果、おおむね予算が議決した趣旨と目的に従い適正に執行されたと認め、すべての議案を認定しました。

平成26年度の 主な事業内容

- ・結婚推進のためにカップリングパーティー（5回）と企業コンを開催
- ・地域リーダー養成講座を2回開催
- ・町内の工場見学、農業体験を組み合わせたバスツアーを実施（26組59人参加）
- ・定住促進パンフレットを作成、定住フェアへ参加
- ・町内通学路4カ所に防犯カメラを設置
- ・社会保障・税番号（マイナンバー）制度への対応
- ・防犯灯整備やガードレール、カーブミラーの設置、路側線
- ・高齢者タクシー料金の助成券の交付（132件）
- ・臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金を給付
- ・放課後児童クラブ助成（東小42人、西小75人）
- ・中学校3年生までの医療費を負担（1665人）
- ・障害児相談、児童発達支援、放課後デイサービスの実施
- ・延長保育（開園時間を午後7時まで延長）の実施
- ・各種検診（特定健診、後期高齢者健診、肝炎ウイルス検診、各種がん検診、ピロリ菌検診、腹部超音波検診、骨粗鬆症検診等）
- ・健康相談119回、健康教育59回
- ・予防接種（4種・3種・2種混合、日本脳炎、麻疹風疹、インフルエンザ、ヒブ、肺炎球菌等）
- ・乳幼児健診、健康教育、保育指導・訪問指導等の実施
- ・不妊治療助成と未熟児養育医療の実施
- ・生活道路の維持修繕31件、狭あい道路整備（殿迫、八ツ的）
- ・道路改良工事
里見630号線（岩村）、新庄トク1号線（才申）他13件
- ・ため池点検調査を64カ所で実施。簡易氾濫解析は69カ所で実施
- ・手ノ際農道工事、慶応池下流水路維持修繕工事とその他ため池・水路改修工事
- ・地籍調査、0.6km²実施
（殿迫、本村、才申、大原東、大原中、大原西）
- ・東・西幼稚園の預かり保育助成
- ・東・西小学校、中学校に各1人の英語指導外国人を配置
- ・生活支援員を小学校15人、中学校1人、幼稚園4人配置
- ・中学校の施設改修、増築、体育館のバスケットゴール改修工事等
- ・文化ホール「フロイデ」のトイレを洋式に改修

平成26年度 会計別決算状況

会 計 区 分		歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計		44億 752万円	41億2833万円	2億7919万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	13億2145万円	12億3125万円	9020万円
	育 英 奨 学 資 金 給 与	25万円	0円	25万円
	介 護 老 人 保 健 施 設	8607万円	8489万円	118万円
	介 護 保 険	8億6592万円	8億4595万円	1997万円
	後 期 高 齢 者 医 療	1億2994万円	1億2983万円	11万円
	町 営 墓 地	1475万円	1349万円	126万円

公 営 企 業 会 計（税抜）		収 入	支 出	差 引
水 道 事 業	収益的収支	2億9111万円	2億6237万円	2874万円
	資本的収支	1666万円	1億2359万円	△1億 693万円
公共下水道事業	収益的収支	3億1548万円	2億8150万円	3398万円
	資本的収支	5億6345万円	6億4955万円	△8610万円

※資本的収支の不足額は損益勘定留保資金等で補てんしました。

決算

平成26年度一般会計決算を中心に4人が総括質疑を行いました。

その後、予算決算委員会に付託されました。

決算総括

質疑

借金、基金の状況は

眞野議員 ①平成26年度の単年度収支額と実質単年度収支額はいくらか。
②町長はこの1年で何をどのように行ったのか。また、今現在の考えは。
③基金の取り崩しは2億198万円ではないか。
④一般会計の借金は1754万円減ったというところか。
借金返済は何に返したのか、利子の分配、そして

てその結果はどうなっているか。
⑤特別会計、事業会計ごとの借金、基金、剰余金の状況は。
総務課長 ①単年度収支は841万円の赤字。実質単年度収支は6570万円の赤字。
②町税の適正な賦課徴収に積極的に対応、歳入歳出バランスの確保に努めてきた。

④借金の状況（一般会計）

	返済額		期末残高
	元金	利子	
道路・公園等	9752万円	2089万円	11億7542万円
学校改修・ため池等	2935万円	360万円	2億4524万円
臨時財政対策債	1億4864万円	2294万円	20億7594万円

⑤借金・貯金(基金)・剰余金の状況

	会計名	期末残高
借金	水道事業	1億6166万円
	公共下水道事業	34億7371万円
基金(貯金)・剰余金	国民健康保険特別	7111万円
	介護老人保健特別	5億5629万円
	介護保険特別	1億5359万円
	水道事業	2億7440万円
	公共下水道事業	1億1954万円

中・長期的な視点も大切にし、財源確保に努める。
③そのとおり。
④借金はそのとおりで、返済は次の表のとおり。
⑤次の表のとおり。

町長 ②墓地等を作った。今後は、道路等を国にもお願いしながら対応していく。
障がい者の方、独居の高齢者の方などの状況把握をし、前向きに財源を投入したい。
約束したことは強い意志で責任を持つてやる。

町税収入の手だては

高田議員 ①歳入で町税の収入未済額の原因は何か。どのような手立てをしたのか。

窓口を設置して納付を受ける体制づくりをした。
②時効によりやむを得ず不納欠損とした。
③滞納繰越分も徴収に取り組んでいる。安易に不納欠損しないよう、よく検討して処分する。

不納欠損が適正と認めたのはなぜか。

③町税は払わないといけないという意識を持ってもらうために、今後どのような方法でやるのか。

④歳出で不用額が多いところが見られる。なぜ他の科目に振り替えなかったのか。補正しながら補正額以上に不用額を出しているところもある。

⑤財産で公園土地が増えているが、どこが増えたのか。

町民課参事 ①生活困窮等で払えず、滞納が積み重なった。
預金や給与等の差押えを実施した。また滞納者に対して電話勧告や相談

②つばきの丘運動公園の財産管理システムの未入力の発覚により増加と、国土調査による3カ所の公園の減少の相殺で2667㎡の増。



操法訓練

財政力指数の低下をどう見るか

仁科英議員

①実質単年度収支、その他基金を加えた再収支は。

②公会計制度導入の作業状況は。

③町の貯金は29億1900万円ではないか。

④借入状況は。交付税算入を引いた純粋借金は。

⑤長期的に見た財政力指数の推移は。

下がる原因は。

⑥財政の健全性が必ずしも保たれていない現状をどう見ているか。

⑦介護老人保健施設特別

たシステムの整備を行い、平成29年度中に財務書類を作成する予定。

③貯金はそれでよい。借金は約71億円である。純粋な借金は30億円。

④平成18年度0・743、平成19年度0・749、平成20年度0・747、平成21年度0・715、平成22年度0・658、平成26年度0・569である。

⑤労働保険や役務費等は、来年度は発生しない。100万円以上の工事と30万円以上の備品は、予算計上する。

⑥必要があれば平成27年度からやっていきたい。

町長 ④国が認める基準に基づく健全性は発揮されているが、健全な財政運営をしていると言いつけるほど健全ではない。

副町長 ④財政力を見る一つの指標にはなるが、いろいろな理由がある。無駄な支出はしていない。

⑤公共下水道事業の遅れは慢性化している。27年度の工事発注が8月、来年度の3月に工事が終わるはずがない。

5月発注で3月完了を

フロイデの活用を

考えてはどうか。

農林建設課長 ①地元への説明が不十分だったかもしれない。今後は事前に何年までに、どこまで整備するのか話しをし、事業を進める。

企画商工課長 ②近隣の高額返礼は把握している。ただ、総務省より高い返礼品の送付を自粛する要請があり、納税本来の趣旨にのっとり制度の運用をしてきた。

今後は納税件数の増加、

上下水道課長 ④9月から工事を始めている。いつもと比べ1カ月くらい早く進めている。班を増やし3月末までに終わる努力はしている。

地域の魅力的な特産品の発信による活力向上につなげるため、魅力的な返礼品を考えている。

教委事務局長 ③大ホールの利用促進は難しいが、中ホールは各種団体等に利用してもらうことで促進は図れると思う。

皆さんに喜んでもらえる自主事業を展開しながら利用促進に向け努めていきたい。

フロイデをもっと使って



フロイデをもっと使って

町条例の一部改正

情報公開条例

町と業務上のかかわりがある町外の企業や個人に公文書の開示ができるようになりました。

個人情報保護条例

マイナンバー法の施行に伴い、必要な措置を講ずるための改正です。

町職員定数条例

町長の事務部局の職員定数57人を59人に、教育委員会の事務部局の職員及び学校その他教育関係の教育機関の職員定数24人を22人としてします。

証明等手数料条例

マイナンバー制度に伴うカードの再交付手数料を規定しました。
初回の交付手数料は無料ですが、通知カードは500円、個人番号カードは

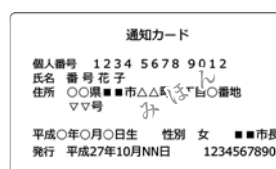
ドは800円の再交付手数料が必要となります。



表面

裏面

個人番号カード(イメージ)



通知カード(イメージ)

質疑

情報漏れの対策は

佐藤議員 個人情報の情報漏れは必ず出てくると

思う。町の対策はあるか。

総務課長 住民情報等の

システムは、インターネットと接続しない状態になっており、外部からの侵入は考えられない。

財務関係等のシステム

は、インターネットに接続しているが、ファイアウォール、フオーティゲート等で外部からのウイルスが侵入するのを防ぐ安全対策を施している。

現時点では万全の態勢でやっている。

あと2人の増員の配置先は

仁科英議員 ①正規職員

のほかに嘱託職員を採用している。全体の状況は、

②嘱託職員の16人は、必要に応じて増減するのか。

③定数条例に教育長は入っていたのか。今度は、ここから外れるのか。

条文改正しなくても定

数外へ変更できるか、疑問。

④里見川荘の町職員は、

指定管理者制度移行後、こちらへ引き取っている。

その上で、あと2人増員してどこに配置するのか。

⑤平成24年12月の補正予算で業務量調査を行なっ

た。調査結果は活用されたか。今後、どのように活用できるのか。

⑥実質増の4人分は、全て一般財源で賄うのか。

⑦町は研修定員を持つていない。だから長期研修に人を出すことができない。研修させるべき。

総務課長 ①正規職員は、

84人。嘱託職員は、16人。短期採用は35人。

③教育長は定数に含まれていたが、今後は、国の制度改正により定数から外れると考える。

④里見川荘の職員2人は、

総務課と国土調査室へ配属。増員2人の配置等は、

現時点では考えてない。

⑤適正で効率的、効果的な運営体制ができるように有効に活用していく。

⑥町長部局の職員は一般財源で賄う。

経常収支比率の向上につながることは認識しているが、人材の確保、育成は喫緊の課題。

副町長 ②嘱託職員の定

数はなく、その年度で必

要な職員は予算計上している。

③条例の改正は考えていない。

⑤調査結果は各課に配付され、どのように協力体制をとれば、バランスがとれた業務量になるのか取り組んでいる。

⑦行かせたいが、長期の研修には行かせられないのが実情。しかし、専門の研修や課長研修、一般職員研修は積極的に参加をさせている。



はっけよいのこった!のこった!

増員分の業務量増があるか

岡本議員 教育長1人分

と、里見川荘から2人帰ってきて、定数86が変わらなくても、実質3人の増。

それだけ業務量が増えていると言えるか。

職員が足りているかいないかは、数値でないと表現できないはず。

総務課長 来年の4月以降、定数いっぱいにする

という意味ではない。

新公会計制度、マイナンバー制度の開始などで業務は増えている。

教育委員会に余裕がある一方、町長部局は今ほ

ぼいっぱいの状態なので、業務の拡大に備えて、今回増員しておこうということ。

数字では説明できないが、現実のところ職員は遅くまで残ったり、日曜日

も出てやっている。人材育成のため、研修

にもしつかり参加する。

副町長 職員の業務量は、実際増えている。

業務量は年度によって変わるもの。住民からの問合せや窓口での対応等、積み上げだけでは計れない部分もある。

将来を見越して、住民サービスがしつかり提供

できるような人員配置、職員の採用、人材育成等を図っていかなければならないことを考えて、改正をお願いしている。



ただ今練習中

ここが反対！

緻密な議論を経るべき

仁科英麿議員

里見川荘から2人帰ってきた、教育長が「職員」でなくなる、正規職員が辞めたあとを嘱託職員にする、で合計4人の増。

今すぐ実現しなければならないと思えない。

教育長分1人の減もせずにそのまま振りかえるのは説明不足である。

定数条例の改正は、業務量の調査結果、正規職員と嘱託定員のあり方など、緻密な議論を経てするべき。

ここが反対！

なあなあでの増減は言語道断

岡本雅道議員

実質4人増える。

しかし、全員協議会では、ただ定数の中の人数の組みかえだけという説明。

具体的にこういう事業が増えたから職員が足りないと明確に数値化し、これだけ増やしたいというのなら分かる。

一概に数値化できないと言うが、数値化できないような人員配置なんかない。

なあなあで職員を増やしたり減らしたりするのは、言語道断。

町の借金と貯金(平成26年度の状況)

平成26年度起債額(借金) 基金(これまでの貯金総額)

4億7730万円

29億1965万円

・一般会計

2億5780万円

財政調整基金

7億8262万円

・下水道事業会計

2億1950万円

いきいき里庄基金

1億円

平成26年度公債費(元金償還金)

4億2025万円

地域振興基金

5846万円

・一般会計

2億7535万円

開発基金

8億3579万円

・下水道事業会計

2168万円

減債基金

1億9197万円

・下水道事業会計

1億2321万円

ふるさと保全基金

6600万円

平成26年度末起債残高※

71億3200万円

文化振興基金

4億4403万円

・一般会計

34億9661万円

スポーツ振興基金

1億100万円

・水道事業会計

1億6166万円

教育施設整備改修基金

1億7628万円

・下水道事業会計

34億7371万円

土地開発基金

1億302万円

環境整美基金

5038万円

※元金償還金のうち、概算41億円が地方交付税に算入される見込み

※端数処理を行っているため、合計額が一致しない場合がある

補正

平成27年度補正予算8件はすべて原案どおり可決しました。
質疑は、一般会計から4人、介護老人保健施設特別会計から1人が行いました。

一般会計

質疑

町税の償還金は

高田議員 ①町税の償還

金は、個人、法人、それぞれ何件か。

②本税と還付加算額はどのような状況。

③いつ、どのような状況でこれがわかったか。

その原因はどちらに責任があるか。

④特別職で一人増、一般職で一人減の補正になっているのは、どういうことか。

町民課参事 ①個人町民

税は10件分増を予測して100万円。法人町民税は1件、730万円である。

②還付加算金は、支出ができる見込み。

③個人は3月の確定申告で、法人は6月の会社側の決算での申告。

責任の問題は無い。法人町民税は、予定納税で納めていた。

今回の法人税割の計算に、納付金額が「ゼロ」となり、予定納税分を返す。

総務課長 ④教育長が一般職から特別職になるの

で1人増。一般職は教育長が特別職になるということにより1人減となる。

観光パンフレットの活用は

岡村議員 ①観光パンフレット追加作成費が38万9000円計上されている。当初何部作成し、今回追加で何部作成するのか。

②町内の観光地をリストアップしているか。

③どのようなもので、どのように活用し、成果はどのようなのか。

企画商工課長 ①平成26年に5000部、今回5000部追加印刷する。

②里庄美しい森、仁科博士生家、仁科会館、歴史民俗資料館、町立図書館、里庄総合文化ホールフロイデ、つばきの丘運動公園等。

③ポケットサイズで細長いリーフレットタイプに

なっている。

また、町内外、県内外で開催される各種観光イベントで配布しており、これからも配布する。県で実施される観光客誘致キャンペーンの岡山

デスティネーションキャンペーンの一環で、福山新倉敷駅や、ももたろう観光センターなどへの設置を予定。在庫が少なく、今回増刷する。



豊作を祝う秋祭り

町の持ち出し額は

仁科英議員

①グリーン

クレスト下にある、歩道橋の修繕事業。平成28年度に6415万円を予定

して債務負担行為をするという内容。なぜこのよ

うな負担行為が必要なのか。事業の内容は。

関連で、補正額の505万円、歩道橋の設計積

算委託費。点検を含め、それぞれの事業の関連性

の説明を求める。

②JRへの委託費は非常に高い。町で行う方法は

なかったのか。

JRで行うなら、できるだけ安い金額で。

③来年分も入れてトータルで幾らになるのか。

純粹に町が持ち出す額はいくらになるのか。

④狭あい道路整備事業費補助金は、400万円減額した。

⑤トップが国、県に要望

に行かなければ通じない。

⑥企画費の補正額が898万円。なぜか。

⑦選挙人名簿調整システム改修事業、新しく18歳から選挙権が与えられる

ので理由はわかるが、全額財源手当てをされるべきもの。

農林建設課長

①JR軌道上部の歩道橋の再塗装、階段部のタイル張りかえ

歩行面のカラー舗装などの修繕工事費用。

平成27年度中に積算委託を終わらせ、28年度頭

から工事に入る必要がある。

当初予算の橋梁点検に係る500万円は、県道

線上部にかかる歩道橋部分で、今年度修繕工事を行

う予定。事業としては別。

②夜間施工を予定している。また鉄道軌道上部の

施工という特殊性と運転

保安上の安全確保の観点からJRと協議の上で出した金額。

必要な費用である。

③工事全体で8696万円。そのうち国庫補助金

交付金は4243万円。起債が3110万円。一般財源での負担額は867万円。

起債額のうち690万円が交付税算入されるの

で、3762万円が最終的な負担分。

④狭あい道路の補助金は、1000万円の要望に対し

交付決定で580万円の配分となったため。

企画商工課長

⑥26年度

当初、企画商工課は、6人だったが、26年度途中に1人減員。

人事異動でまた6人に戻った。その増額分。

総務課長

⑦選挙権の年齢引き下げ分は2分の1が補助対象。

選挙人名簿登録制度の変更によるシステム改修

費も含んでいるが、それに補助が出るかどうかは

国で審議中。

副町長

⑤県に要望したり国の交付金を活用しながら積極的に整備を進めていく。

町長もこれまでも要望をしている。

予算の倍かかる、つめが甘い

岡本議員

①備品購入費

でカーナビゲーションをつけたが、どの車につけたのか。必要性は。

②観光パンフレットを作

成して配布する。どのくらいの効果があったか。

いつまで続けるか。

③予算の倍以上の費用がかかる、反対に多額の金額が余る。予算の取り方

に問題がある。どのように考えるか。

教育費で武道館の天井撤去の費用が発注すると

予算の倍かかった。つめが甘い。

専門家の確認を。

町民課参事

①固定式ではなく一台で特には町民課税務担当が使用し、要

望があれば各課に貸し随時使えるようにしている。

町内から町外住所しかわからない滞納者へ行くときに役立っている。

企画商工課長

②各所に

コーナーを設け観光客、

定住促進、簡単な町案内に使っている。各地観光

の動向者数はそれぞれの担当課で把握している。

ずっと続ける。

教委事務局長

③予算要求は、業者から見積もりをとっているが、直近の

評価額や建設物価の本等を参考にし、より精査して

予算措置をお願いしていきたい。

町長

③補正が予算の倍になる。見積もりが甘い気はする。

一級建築士も町が雇っている。その人に指導・

検証をして欲しいと思っている。

教育委員会に指導しており、これからも厳格に

やっていく。



リニューアルを待つ歩道橋

介護老人保健施設

591万円増額の積算は

仁科英議員 ①当初30

00万円に対し、補正591万円の積算は。

②納入期日は。

③決算はいつ終わるのか。

④協議会はいったったか。

総務課長 ①平成26年度

の里見川荘の決算で、収入が4億528万円。支出が3億5345万円。

差引き5183万円が利益で、利益の2分の1を追加納入するという協

定により、2591万円と、基準納入額が100

0万円、計3591万円の収入となる。

3000万は予算計上済みのため、591万円を追加計上した。

②町議会の承認を受けて残り分の納入日を決める。

9月中に納めてもらう。

③国定病院の決算も済み、



里見川荘全景

里見川荘の運営協議会で、収支報告、決算の承認をもらっている。

④1、2カ月前だった。

教育委員会教育長の任命

開かれた教育委員会を

仁科英議員 ①今回の制

度改正の狙いと、この改正の主な点はなにか。

②新しい教育長は今までと、どのように変わるのか。

身分の取り扱い。

③教育長は、従来政治活動が禁止されているが、今後はどうなるのか。

④新教育長は、今回の制度改正を踏まえ、開かれた教育委員会をつくる人なのか。

総務課長 ①教育委員長と教育長を一本化して新

教育長を設置し、責任体制の明確化と、地方公共

団体の首長と教育委員会の連携の強化を図る。

首長が総合教育会議を設置し、教育に関する大綱を策定する。会議では

首長と教育委員会が協議

調整し、両者の教育政策の方向性を共有して進めていく。

②特別職の身分のみとなる。

新教育長が教育委員会を総理することとなり、任期は3年。

③改正後も基本的な考え方に違いはない。

町長 ④経験、人格から新教育長には適切な人だと思う。

9月補正の結果

会 計 名	補正後の金額	(補正額)
一 般 会 計	43億3636万円	(1億3355万円)
国民健康保険特別	14億4397万円	(6304万円)
介護老人保健施設特別	3781万円	(709万円)
介護保険特別	9億5703万円	(1984万円)
後期高齢者特別	1億4711万円	(117万円)
町営墓地特別	1199万円	(9万円)
水道事業会計		
収益的収入	2億7001万円	(△15万円)
収益的支出	2億5608万円	(26万円)
資本的支出	9548万円	(△4万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億2317万円	(△10万円)
収益的支出	2億9096万円	(△10万円)
資本的収入	3億4981万円	(△5万円)
資本的支出	4億8191万円	(△5万円)

人事

教育委員会教育長

小田郡矢掛町小田

4709番地

杉本 秀樹氏

— 請 願 —

「平和安全法整備法案」「国際平和支援法案」の 廃案を求める意見書を送付する請願は採択

審査結果 賛成 3 : 1 反対

総務文教委員会に付託された意見書の送付を求める請願は、9月4日に委員会を開催し、慎重に審査を行った結果、賛成多数で採択すべきと決しました。

ここが反対！

里庄町議会としては慎重に

仁科英磨議員

安全を確保するための法案だという一方で戦争に道を開くものという意見もある。

町民の方はわからないというのが一番多い。

私も、議会として、国に意見書を出すのは差し控えるべきと考える。

外交、防衛、司法については、直接地方行政にかかわらない部分であり、里庄町議会としては慎重を期すべきである。

ここが賛成！

戦場に送り出すのは許せない

佐藤耕三議員

この法案は、子ども、孫を戦争に行かせることになる。

日本は、戦争をする国となり、この状況になると、テロの標的として狙われる。自衛隊は、本来の姿で、国内での活動をすべき。

戦場に送り出すのは、許せない。

政府も国民への説明不足であり、多くの方が不満を持っている。

ここが反対！

議会としてはすべきではない

岡本雅道議員

私は、「平和安全法整備法案」及び「国際平和支援法案」には、個人的には賛成はできないが、この廃案を求める意見書を出すことについては、里庄町議会としてはすべきではないと思う。

したがって、この廃案を求める請願には、反対する。



目指せ、未来の科学者(ロボコン 2015)

発 議

国に意見書「安全保障関連法案」の廃案を求める

「やられたらやりかえす」この悪しき連鎖は、どこかでとめなければならない。

今がそのときである。21世紀は、戦争が無い世界を創りだす世紀にしなければならない。日本国憲法は、地球上の紛争の平和的解決に

貢献する規範たり得る宝である。

いかなる理由付けしようと、憲法に違反する「法律」はつくってはならない。以上の理由により意見を表明する。

憲法違反の「安保法案」は廃案にすること。

議案に対する賛否状況(9月定例会)

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名	議員名									議決結果
	高田卓司	岡本雅道	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英磨	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	
議案第 45号	里庄町情報公開条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 46号	里庄町個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 47号	里庄町職員定数条例の一部改正	○	×	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案第 48号	里庄町証明等手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 49号	平成27年度里庄町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 50号	平成27年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 51号	平成27年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 52号	平成27年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 53号	平成27年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 54号	平成27年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 55号	平成27年度里庄町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 56号	平成27年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 57号	平成26年度里庄町一般会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
議案第 58号	平成26年度里庄町国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
議案第 59号	平成26年度里庄町介護老人保健施設特別会計決算の認定	×	×	○	○	○	○	○	○	認 定
議案第 60号	平成26年度里庄町育英奨学資金給与特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
議案第 61号	平成26年度里庄町介護保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
議案第 62号	平成26年度里庄町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
議案第 63号	平成26年度里庄町営墓地特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
議案第 64号	平成26年度里庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
議案第 65号	平成26年度里庄町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
議案第 66号	教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
報告第 5号	平成26年度里庄町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認
請願第 1号	「平和安全法整備法案」「国際平和支援法案」の廃案を求める、意見書を政府に送付する請願書	○	×	○	○	×	×	×	○	採 択
発議第 3号	里庄町議会会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決
発議第 4号	「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書案	○	×	○	○	×	×	×	○	可 決

※ 議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

一般
質問

町政を問う

7人の議員が登壇して質問!

岡村咲津紀 議員…………… 15P

- ① 教職員の綱紀粛正について
- ② 子どもの貧困対策について
- ③ 地域支援サポーター登録者アップについて

岡 本 雅 道 議員…………… 16P

- ① 軽自動車税について
- ② 警察署の管轄変更について

眞 野 博 文 議員…………… 17P

- ① 当町の生活困窮者の支援事業を尋ねる
- ② 決算ベースでの分析は

仁科千鶴子 議員…………… 18P

- ① 社会福祉協議会への補助金及び実施事業について
- ② ハートコールによりコミュニケーションを図る

佐 藤 耕 三 議員…………… 19P

- ① 高校卒業までの医療費の無料化について
- ② 「安全保障関連法案」について
- ③ 所有者が管理できなくなった土地の対策について

仁 科 英 麿 議員…………… 20P

- ① 町長の選挙運動、政治行為、寄付の禁止規定への対応と法の遵守について
- ② 里庄駅のエレベーターの設置、橋上化と南北通り抜け化、及び駅前総合開発の検討の実施について
- ③ 小・中学校の教室へのエアコン(冷房)の設置について

高 田 卓 司 議員…………… 21P

- ① 町のアピールに「つばき」を考えてはどうか
- ② 浸水対策として、雨水貯留タンクの設置を考えてはどうか

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

岡村咲津紀 議員



教職員の不祥事防止の取り組みは

教育長／指導の徹底を図る

問

県では8月には
いり、教職員の
逮捕者が5人も出ている。

子どもたちを指導する
立場の教職員が法を犯す
のでは社会全体にとって
マイナスであり、大多数
の真面目な教職員にとつ
てもイメージダウンとな
り、その倫理観が疑われ
るリスクが大きい。里庄
町でも、以前に小学校教
諭の不祥事が発覚した経
緯がある。

教師が一斉に襟を正す
綱紀粛正の徹底や、教師
の倫理以前の人としての
倫理観の維持向上のため
にも、風通しのよい職場
環境や組織の活性化が必
要だと考える。

教職員の不祥事防止に
町では、どのように取り
組んでいるのか。

教育長

各学校で年間の
研修計画を立て、
不祥事防止の徹底を図つ
ている。平成26年度は小・
中学校でそれぞれ年間6

回程度、30分から60分の
時間をとり講義、演習、
グループ協議等を行い、
教職員一人一人が自分の
こととして問題を捉える
ことができるようにした。

校長が朝礼や終礼など
で新聞記事や各種資料な
どを活用し、不祥事防止
について教職員に指導を
行っている。

町教育委員会は、県教
育委員会の通知や不祥事
の事例等を使い、指示や
指導を行っている。

毎月開催している町内
校長会でも、必ず協議事
項の最初に不祥事防止の
取り組みについて、資料
を提供しながら繰り返し
指導の徹底を行っていく。
今後も指導の徹底を図
り、保護者、地域の皆様
方から信頼がもたれるよ
う子どもたちのために努
力をしていく。

子どもの貧困対策は

健康福祉課長／国の方針に従う

問

昨年8月政府は、
子どもの将来が
生まれ育った環境に左右
されず貧困が世代を超え
て連鎖することのないよ
う、教育や生活の支援な
どに取り組むと閣議決定
した。

の推移と課題、子育て施
策の課題と解消は。
町内の就学援助の実施
状況は。学校を窓口とし
た福祉関連機関等との連
携は。

健康福祉
課長 町は、国の方針
に従って対策を
進めていきたい。

これらを踏まえた上で
の、町の見解と貧困が子
どもに及ぼす影響や、町
の子どもの貧困率の推移
や特徴。
ひとり親家庭の世帯数

地域支援サポーターの現状は

健康福祉課長／高齢者世帯の訪問など

問

里庄町地域支援
サポーター養成
講座は、2回の修了生が

誕生しているが、活動の
状況や現状は。

とり親世帯の貧困率が高
い。

ひとり親家庭は、ほぼ
横ばいで推移。
母子家庭への経済的な
支援が必要であり、児童
扶養手当やひとり親家庭
等医療費など、町民課と
連携して制度の周知に努
めている。

教委事務
局長 就学援助は、平
成27年度は小・
中学校の児童・生徒39人
が対象。

学校は教育委員会を通
じ、町の健康福祉課や児
童相談所と連携し取り組
んでいる。

健康福祉
課長 登録者は平成26
年度が34人で、
今年度が17人という状況
である。

サポーターは高齢者世
帯を訪問し、安否確認や
声かけ、サロン活動など
への声かけや手伝いなど
を行っている。

軽自動車の重課税を考え直せ

町民課参事／行財政運営に影響がでるので

考えていない

問

①来年度から軽自動車税が引き上げられる。交通網が発達した大都会と違って、

里庄は歩くか自動車を使うしか移動手段がない。増税による増収見込50

0万円を節約すれば住民が住みやすい町づくりの中で生活できるが、据え

置くことはできないか。②軽自動車にも重課税が加算されるが課税の目的

は何か。③年金生活者の方々に辛うじて軽四を購入し生活

の足として、13年以上乗ると課税することは考え

なおすべきではないか。この重課税は町民から税金を取るだけ。住みやす

い町づくりには程遠い

行政の在り方で、税金を増やし苦しい生活を強いると理解する。

町民課参事

①税額の据え置きは行政運営に影響がでるので考えていない。

②地球温暖化防止策として、環境性能の劣る車に課税をすることが主目的

で、具体的な使用目的はない。

③国の地球温暖化防止指針に沿って町もやっ

ていくという考えである。

警察署の管轄を変更できないか

町長／町として不便を感じていない



岡本 雅道 議員

問

①里庄は玉島管轄だが、運転免許証の更新などでも、40

分かけて玉島署に行かなければならない。笠

岡なら5分かつ10分である。玉島警察署から笠岡警

察署に管轄の変更をすれば、住みやすい利便性の

良い行政になると思うがどうか。

②強盗とか殺人とか突飛なことを言うが、ここ20

年で何件発生したか。日常生活のなかで警察署を

利用するなら近い方が便利だ。なぜ笠岡署だとダメ

なのか。③分館からの意見は聞いてない。と言われるが、

警察署の管轄変更ができることを知らない。

また、軽自動車税も町が変更できることも知らない。

自動車税や警察署の変更など町民の方に、こうすれば便利になるからどうですか。と提案するの

も議員の仕事である。

住みよい町づくり、人口増加につながるための

施策として何かあるか。

総務課長

①県では市町村合併に伴い、平成18年に警察署の管轄区

域等見直しのためパブリックコメントを実施し、

寄せられた意見要望をもとに管轄区域の見直しがあ

ったが、里庄は以前と変わらず玉島管轄となった。

地域の安全の観点から、浜中で強盗やひき逃げ事

件が発生したら、玉島署はもちろん笠岡署、井原

署が初動活動をする体制となっており玉島署管轄

で問題ないと考えている。

②県内全体で考え問題を解決しなくては管轄変更

は難しいのではないかと考える。

町長

②交通や防犯など長い間玉島署という経緯がある。また、

分館から管轄変更の意見は聞いていない。町としては不便を感じていない

し変える気持ちはない。

③人口増加に向けての努力は毎年の施策の中でや

っている。



地域を守る駐在所

眞野 博文 議員



生活困窮者の支援策とは

健康福祉課長／今年度は必須事業のみ

問

ことしの4月から生活困窮者の支援制度が始まり、生活全般にわたる困り事の相談窓口が全国で配置されることとなった。

- ①当町に、この相談窓口は設置されたのか。どこに相談すればよいのか。
- ②どんな人を支援するのか。
- ③どのような支援策があるのか。
- ④間もなく半年が経つが、町内での相談はあったのか。
- ⑤今年度実施しない任意事業は、今後どうするのか。
- ⑥町民に周知できてるか。どんな周知をしたのか。
- ⑦不服があった場合、どのような対応ができるのか。

健康福祉課長

①本町の場合は岡山県備中県民局が実施主体となり、窓口は健康福祉課となっている。

②対象者は、生活保護に

至る可能性があり、自立が見込まれる人。

- ③今年度、岡山県は必須事業のみ。就労支援や一時生活支援事業、家計相談支援事業、子どもへの学習支援事業等の任意事業は、実施しない。
- ④4月から現在までに数人の支援を行なった。相談支援員が個別に対応している。
- ⑤任意事業は財政的な負担が大きくなるため、積極的に行なうとは聞いていない。
- ⑥民生委員会総会で制度の説明は行なった。周知する必要はないと考える。
- ⑦不服申し立て制度はあると思っている。

町長

ひきこもりの人は多いと認識している。保健師が出向き、就労を勧めたり、社会復帰への相談を行なっている。現実には難しいが、やらないといけない。

新しい会計で何が変わる

総務課長／計画的な財政運営が可能に

問

地方自治法を見ても予算重視、決算軽視の制度となっている。しかし、決算を十分に分析し、次の予算に結びつけていくことが必要。

- ①このことについての考えを尋ねる。
- ②財務分析は行っているのか。どのような分析で、結果はどうだったのか。
- ③翌年度の予算策定はいづごろから行うのか。
- ④分析結果や議会審査の結果を翌年度の予算策定にどのように生かすのか。
- ⑤現在の会計では、多面的な財政分析は難しい。そのため平成29年度までに新地方公会計制度（複式簿記・発生主義会計）が導入される。当町は、どのように取り組んでいるのか。

総務課長

- ①現時点は現金主義、単式簿記の形で一年一年、決算の結果を見て予算編成を行つてる。
- ②分析を行い、目的別、性質的なデータも取り、今後の財政運営の参考としている。
- ③導入する際の課題、問題点はなにか。
- ④新しい会計を導入すると何がかわるのか。
- ⑤中・長期的な財政運営での活用を期待する。町長の考えは。

①現時点は現金主義、単式簿記の形で一年一年、決算の結果を見て予算編成を行つてる。

②分析を行い、目的別、性質的なデータも取り、今後の財政運営の参考としている。

本町の分析結果は、今後も健全な状況が維持できるものと考えている。

③例年のスケジュールでは11月の下旬から予算編成作業を開始し、翌年の1、2月にかけて最終の町長査定という形で行つ

ている。

④総務課が提出した予算編成方針に従い、各課の担当者が振興計画や事業評価調査に沿った予算要求案を提出。その後、査定を行い予算案を編成する。

⑤財務書類作成に不可欠な固定資産台帳の整備は、今年度中に終了する予定。来年度は財務書類作成に向けた町内体制とシステムの整備を行う。

⑥課題は2点。マンパワー不足、知識を持った人材の育成。そして初期投資と維持管理の費用面。

⑦現金主義では見えにくかったことが見え、計画的な財政運営が可能になる。また、資産などを含めた全体の財政状況もわかる。

町長

⑧職員の負担は増すが、わかりやすく、長期的なビジョンが組めるので努力していきたい。

子育て広場、環境改善・改修

されていない

健康福祉課長／カーペットの取り換えなど
早急に対応する



仁科千鶴子 議員

問

① 社会福祉協議会（以下、社協）

へ町から毎年3000万円の補助金が出ている。

町として、社協を監督し、また補助金が有効に事業が適正に行われているか、確認することができ。特に子育て支援拠点事業子育て広場の運営状況と補助金制度の内容は。

② 子育てサロンの預かり状況、一時預かりの利用数は。また対する保育の指導員の数、定数は。

③ 活動内容は。

④ 病児保育を置く予定は。

⑤ 環境改善がされていない。畳の上に敷いているマットなど、改修するべきではないか。

健康福祉課長

① 町から社協へ委託料350万円を支出し、子ども・子育て支援交付金として国と県からそれぞれ3分の1の歳入見込みである。条件は、週に3日以上、1日5時間以上の開設、専任の職員を2人以上配置することである。また一時預かりで補助は受けていない。

子育てひろばげんキッズでは、月、火、金曜日の週3日の開設、午前が9時30分～12時、午後が13時～15時30分としている。

② 平成26年度は、開設日数150日、人員は大人1978人、子ども2635人、1日平均大人13

人、子ども18人。一時預かりでは、平成26年10月から開始、登録者数18人、一日平均利用者数0・89人。また、社協職員2人で対応している。

③ 月に1度の誕生日会やお楽しみ会などを企画、運営している。託児サービスでは、対象児は3カ月～就学前までで1日概ね5時間までとしている。月～金曜日までの9時から16時までとなっており、利用料は1時間300円と実施要綱で定められている。

④ 考えていない。要望があれば社協と相談する。

⑤ 清潔な環境になるよう、畳の消毒、カーペットの取り換えなど早急に対応する。



気持ちいいネ、きれいになったカーペット

教委事務局長

④ 畳の消毒、カーペットの取り換えは早急に対応し、その他は各施設に優先順位をつけながら検討する。

問

① 団地も高齢化し、大変不安だという声がある。

町内の高齢者の1人暮らし、夫婦のみの2人暮らしの状況は。

② 自治体としての対策は。

③ 地域支援サポーターの活動にハートコール導入など、見守りをもっと強くし、ネットワークを組織化するべきではないか。

健康福祉課長

① 7月末現在の総人口は1万1124人で、65歳以上の人口は3224人である。

65歳以上の単身世帯326世帯、65歳以上のみで2人以上の世帯487世帯である。

② 独居の方は訪問を行っている。認知症が疑われる場合、複数回の訪問や2人体制で対応している。地域の老人クラブやボランティアの方々から情報を頂き、早期に関わるようにしている。

また、見守りの施策として緊急通報装置給付事業、高齢者タクシー料金助成事業、高齢者給食サービス事業、つばき会による配食サービス、要介護・要支援の方に対し、介護保険制度利用の支援を実施している。

③ 地域の民生委員、サポーターの方々を協力し、電話より訪問を中心とした支援をしていきたい。

ハートコールによる見守りを

健康福祉課長／電話より訪問を中心とする

佐藤 耕三 議員



高校卒業までの医療費を無料化に

町長／町全体の財政を考えれば現時点では考えにくい

問

現在子どもの医療費は中学卒業まで無料となっているが、高校卒業まで医療費を無料にしてはどうか。

岡山県では高校生の医療費の無料化を図る自治体が増えてきている。

1人当たりにして2〜3万円の負担。3学年で約300人、7〜800万円できると思う。

県内でやっている市町村を参考にしているのか。

健康福祉課長

町の財源をバランスよく配分するに当たり、医療費の増加は軽視できない。

高校生の医療機関を利用しない比率が増え、幅広く子育て世代に恩恵が行き渡らない。

町長

高校生の医療費無料化は必要ないと判断している。

副町長

バランスを考えた財政出動を計画的に進めている。

町全体の財政を考える
と、高校卒業までの無料化は現時点では考えにくい。

安全保障関連法案をどう考えるか

町長／国政レベルで個人の考えを言うのは望ましくない

問

①法案が成立すれば、時の政権の判断でなんでもできるという危険な法案ではないか。憲法9条を基本に話し合いで解決する姿勢が大事。これを基に世界の国際紛争を解決することが日本の国際貢献だと考える。

6月議会最後に、町長には1万1千人の町民の命と暮らしを守る責任があるとお願いをした。あれから3カ月町長の考えは。

②町長の平和行進、平和式典での平和の誓いと、

この法案は相反するもの
だと思ふ町長の言葉と、
どのようにつなげるか。

町長

①町長の責任は、町民の皆さんが日夜不安なく安心して暮らせる生活の環境づくりであると考える。

安保関連の問題は国政レベルの事で地方の首長が意見を述べるのは難しいが、日本のおかれている環境を考えれば法案は慎重な対応が必要だが、やむをえないと考える。
②国政レベルの問題で個人の考えは差し控える。

所有者の管理できなくなつた土地の対策は

町長／農業委員会、農協を通じ
広報し探していく

問

高齢者が管理している農地、山林は管理が困難になると考える。また、自分の土地の存在がわからない。これらをあわせ、どのように取り組むか。

農地バンクで土地を貸す人はいるが借りる人は少ない。10年20年後を見据え考えては。

農林建設課参事

再生できない農地は原野山林としている。

農地を農業委員会に登録してもらい、農地バンク制度を行っている。農業を再会、新規に始められた方には役場、JA岡山西農協里庄支店で情報提供の支援を今後考えている。

町長

農業をする人が少ない。それをどう確保するかが一番の問題。農業委員会、農協を通じ、積極的に広報したり、探していきたい。



広がる土地の荒廃化

法の遵守、町長はどう考えているか

町長／法律より前に一般常識、社会通念がある

問

① 4月の町議選で町長は、告示前から特定候補の応援運動を行っていた。事前運動の疑いがある。

どのような言い方で、どのように回ったのか。地位利用に当たる可能性もある。

② 2年前の町長選挙では、告示前の町政報告会の案内状に、「立候補を決意した大内恒章の目的を達成し」と書かれていた。

この文書も会の内容も、事前運動に当り、法律違反（県選管）。

町長の香典は、親族へ以外は禁止されている。罰金はないが、町民を代表する町長が法律違反を続けてよいのか。

我が国は、自由と人権を尊重し、民主主義を基本とする法治国家だ。

町長は、法の遵守についてどう考えているか。未来を担う子どもたちに、どのように教えたらいと考えているか。

町長

① 事前運動をしたつもりはない。個人の問題で、この場で答える問題ではない。

② 香典は、町民を代表して弔意を表すため、町民の方には理解してもらえる範囲と考えている。

法律より前に一般常識、社会通念があり、人情も考える必要がある。

すぐ法律はこうだと言ったとら、組合の中の

ことなど、もめごとはいっぱい起きる。なあなあも必要だ。

教育長

② 民主政治の基本は、代表民主制。

子どもが法の意義を理解し、遵守の精神を持つところまで高める。また、課された義務をしつかり果たす態度を育成する。



里庄駅



仁科 英磨 議員

里庄駅のエレベーターの設置、橋上駅化と南北通り抜け化等を

町長／前向きに検討にかかりたいという気持ちはある

問

里庄駅のエレベーターの設置、橋上駅化と南北の通り抜け化は、長い間の悲願だ。

里庄が発展していくためには、避けて通れない重大な課題でもある。

① まずエレベーターをといて声が非常に高い。最優先すべきだ。

2本で幾らかかるか。JRの言い分は。

悪循環で3000人を切ったのだから、何とかやってもらえないのか。

② あわせて南北通り抜け化をするときの費用効果は。

効果は50年で40億円、少なくとも20〜30億円はある。新型交付金の対象に要望できないか。

農林建設課長 ① 通常は5000万円前後。

里庄駅は耐震の問題があり、億の単位になる。

JRは、現在、1日利用者が3000人以上の駅で協議を進めている（費用は、国、JR、地元

が3分の1ずつ負担）が、里庄駅は、ここ数年2500人〜2600人。

高齢者、障害者等の利用の実態を踏まえ、十分協議、検討の必要がある。

② 考えてない。実施例では、JR委託部分だけで10億円以上かかっており、町の財政を考えると、難しい。

町長

①、② 全体的に一遍にできたらいいなあとは、当然思っている。

しかし、長期的な展望、形、費用、構造的なこと等があり、具体的に言うような段階ではない。前向きに検討にかかりたいという気持ちはある。

その他の質問

Q 小・中学校の教室にエアコンの設置をA いろいろ検討している

高田 卓司 議員



町のアピールに ツバキを考えてはどうか

農林建設課参事／今後検討する

問

①今はあらゆる方法で町の名を売る時代である。

しかし、里庄町には、これといった観光場所も特産品もない。

「町の木」をツバキに決め「つばきの丘運動公園」とし、マスコットキャラクターもツバキをあしらってつくっている。

いろんなところへツバキを植えて、ツバキの花咲く町でアピールしてはどうか。

②「町の木」をツバキにしているところは全国に多くある。

町によっては街路樹をすべてツバキにしているところもある。

また公共残土捨場の法面に植えている町もある。実のなるツバキを運動公園の南の斜面に植えてはどうか。

③いろいろな研究調査する中で、これが私たちが搾ったツバキ油。

ツバキの花咲く町とし、その実を搾って、ツバキ

油を里庄町の売りにしてはどうか。

④いろんな人の力を借りて、ツバキ油の生産団体をつくり事業化のメドをつけて町の特産品としたい。

いろんなところへツバキを植えることにより耕作放棄地対策にもなると思うが。

農林建設課参事

①町制の50周年までは何回か各戸に配布された。

そして里庄町をイメージした愛称を公募し、里ちゃんとしてマスコットキャラクターが誕生した。

美しい森、運動公園などに植えている。

②道路沿いに植えると、交通安全対策の関係から危ないということも考えられる。

植える団体のようなものが立ち上がっていないので植樹がえがあった場合検討したい。

③先般の議会で町長が、団体もしくはグループ



特産品にしたい つばき油

ができ、事業計画、今後のビジョンを示せば検討する」と言ったので、受け皿の団体を構成するよう頑張ってもらいたい。

④放棄地解消につながる

と考える。

農林建設課長

②ツバキをアピールしていくのはいいことだと考える。

維持管理をしていく必要があると思うので、植えることを検討したい。

雨水貯留タンク設置に 補助制度を考えては

総務課長／今後研究し対処する

問

①最近では急激な雨により大きな災害が各地で発生している。

雨どいの水を一時ためて水の調節ができる貯留タンク、または雨水浸透ますを設置するのに補助する制度をつくり洪水対策にしたらどうか。

②下水道に接続し、不要

になった浄化槽のタンクを、貯留タンクとして利用してはどうか。

下水道接続促進にもなり、家庭では上下水道の利用料金の節約にもなるが。

総務課長

①雨水貯留タンクは浸透対策に有効と考える。

節水、循環型水利用の推進に努めることを目的とした助成金制度を設けている自治体もある。

しかし本町レベルの居住環境ではなじまないように思う。

今後研究し、対処したい。

②合併浄化槽とか、下水道の接続とか貴重な意見なので、今後研究し対処していきたい。

川南子供会、がんばってます。

川南子供会

川南子供会は、幼稚園児から小学校6年生まで43名で活動しています。

川南地区は、分館行事がとて盛んです。子供会役員も楽しい地域づくりのために役立てればと頑張っております。

春は、ファミリー大会（小運動会）、そして夏はお楽しみ会です。今年はお楽しみ会後、食べ放題のランチ日帰りバス旅行を、保護者も含め楽しみました。

伝統行事の秋祭りでは、「秋祭りの夕べ」で、日吉神社境内に舞台が設けられ、各学年が運動会で踊ったダンスを披露しました。

子どもたちは、この日のために、一生懸命練習を重ねてきたので、キラキラの笑顔が眩しい瞬間

でもあります。

そして「夕べ」の最後には、福まきやくじ引きがあり、大興奮の中、夜が更けていきます。

翌日は、大勢の保護者の協力を得ながら、神輿を巡行しました。

クリスマス会では、子どもたちの手作りデコケーキあり、プレゼント交換あり、ゲーム大会あり、「おかわり喜んで」の役員手作りカレーありのにぎやかな行事です。

歓送迎会やしめ縄づくり、とんど焼き等、様々な行事がまだまだたくさんありますが、いつも活動を温かく見守ってくださる地域の皆様のご理解とお力添えに心から感謝申し上げます。

（鈴鹿 千恵）



《第82号》

平成27年10月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

●あとかき

秋祭り、稲刈りも終わり、冬支度に入る季節を迎えました。

編集委員一同、引き続き先輩委員の協力を得ながらの、2回目の編集でしたが、相変わらず四苦八苦でした。

皆様のまわりに、各ページに入れる写真になりそうな行事等がありましたら、事前に事務局までご連絡いただければありがたいです。

（仁科英）

編集委員

委員長：小野光章 副委員長：仁科英磨 委員：仁科千鶴子 委員：佐藤耕三

